

始めに、しせいとえんぴつの持ち方をたしかめます。
 正しく整って書けているか、が大切です。「止め・はね・はらい、線の長さ
 と方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線のつき方と交わり方、
 一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

※「筆圧」とは、えんぴつの先から紙に伝わる力のことです。

外形	注意するところ	同じ広さのあき	広いあき せまいあき	曲がり	方向	長さ	せつめいの記号

漢字は大きめ、ひらがなは小さめ、画数の多い文字は大きめ、少ない文字は小さめです。外形も考えて、読みやすく書くようにしましょう。

①	②

氏名は上と下のあきをそろえて、かだいの文字より少し小さめに書きます。

※次のむすび方でもよい。「ま」

小
四